

■那須平成の森

2011(平成23)年、現在の上皇陛下のご意向を受け、那須御用邸用地の一部を活用して「那須平成の森」が開園しました。この森は、豊かな自然を次世代へ引き継ぐことを目的として整備され、多様な動植物が共生する自然環境の象徴となっています。現在も保全と活用が両立されたフィールドとして、多くの人々に親しまれています。

令和の時代においても、天皇皇后両陛下や愛子内親王殿下が那須を訪問されるなど、皇室と那須町のつながりは今なお続いています。



開園当初の那須平成の森

那須町と皇室の歩み(年表)

和 暦	西 暦	できごと
明 治 9 年	1876	東北・北海道巡幸の際、明治天皇が芦野で1泊される
明 治 14 年	1881	東北・北海道巡幸の際、明治天皇が芦野で2泊される
明 治 29 年	1896	荻昌吉、黒田原御用邸の建設を計画する
明 治 42 年	1910	那須野が原で陸軍特別大演習が行われ、高久愛宕山で明治天皇が統監する
大 正 12 年	1923	摂政宮(後の昭和天皇)、初めて那須行啓される
大 正 15 年	1926	那須御用邸が建てられる。昭和天皇、初めて茶臼岳を登山される
昭 和 3 年	1928	昭和天皇、初めて三本槍岳を登山される
昭 和 5 年	1930	嚶鳴亭、澄空亭が建てられる
昭 和 7 年	1932	李王家那須別邸が建てられる
昭 和 10 年	1935	那須御用邸附属邸が建てられる
昭 和 19 年	1944	宮内省図書寮所蔵資料が那須御用邸に疎開される
昭 和 20 年	1945	伏見博明氏(当時伏見宮博明王)・李玖氏、李王家那須別邸で終戦を迎える
昭 和 22 年	1947	戦後最初の那須行幸啓、昭和天皇・香淳皇后が大日向開拓地、高久小学校などを訪問される
昭 和 47 年	1972	『那須の植物誌』が刊行される
昭 和 54 年	1979	笹平湿地をご視察される
昭 和 60 年	1985	『那須の植物誌 続編』が刊行される
平 成 9 年	1997	栃木県立博物館による那須御用邸内の動植物相調査が行われる(～平成13年まで)
平 成 11 年	1999	上皇・上皇后両陛下、天皇皇后両陛下が那須水害の被災地・被災者をお見舞される
平 成 17 年	2005	上皇・上皇后両陛下、秋篠宮さまら千振をご視察
平 成 23 年	2011	東日本大震災後、御用邸附属の入浴施設を避難者に開放 那須平成の森開園
平 成 27 年	2015	上皇・上皇后両陛下、千振をご視察
令 和 7 年	2025	天皇・皇后両陛下、大日向地区の元硫黄島民とご懇談

未来へ受け継ぐ「ロイヤルリゾート那須」

皇室との長い歩みは、那須町の歴史と文化を形づくる大切な基盤となっています。

豊かな自然、静けさ、そして穏やかな風土。

那須町には、皇室とともに育まれてきた価値が今も息づいています。

昭和から平成、令和へ。

時代が移り変わる中であっても、那須の景観と自然は大切に守り継がれてきました。

那須町はこれからも、皇室ゆかりの地としての誇りを胸に、「ロイヤルリゾート那須」の魅力を次の世代へと受け継いでいきます。